

公開シンポジウム

地域の記憶と記録を今に活かす

— 地域文化資源デジタルアーカイブの役割 —

東京文化資源会議では、谷中・根津・千駄木地域を対象にした、デジタルアーカイブ・プロジェクトを進めてきました。これは、具体的な地域文化資源をあつかうことを通じて、デジタルアーカイブのモデルを構築する試みです。本シンポジウムでは、このプロジェクトの中間報告をおこなうとともに、今後の可能性を探ります。デジタル化した文化資源をいかに活用するのか、そしていかに各地域の文化資源をつなげて全国的なネットワークを形成するのか。デジタルアーカイブ学会(JSDA)、デジタルアーカイブ推進コンソーシアム(DAPCON)の協力を得て、産学民の連携のもとでの可能性と課題を討論します。

2017年11月24日[金] 16:00–18:30

東京大学ダイワユビキタス学術研究館 ダイワハウス石橋信夫記念ホール

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_14_04_j.html

主催 | 東京文化資源会議 [TCha]

後援 | デジタルアーカイブ学会 [JSDA] 協力 | デジタルアーカイブ推進コンソーシアム [DAPCON]

構成

1 | 基調講演「東日本大震災デジタルアーカイブからまなぶ地域アーカイブの課題」(20分)

坂井知志 [常磐大学教授 / JSDAコミュニティアーカイブ部会長]

2 | 報告①「谷根千デジタルアーカイブの概要と考え方」(20分)

宮本隆史 [東京大学特任助教 / TCha地域文化資源デジタルアーカイブPT・プロジェクトマネージャー]

3 | 報告②「DAPCONの取り組みと地方デジタルアーカイブ構築・運営支援」(20分)

長丁光則 [デジタルアーカイブ推進コンソーシアム事務局長]

<休憩> (10分)

4 | パネルディスカッション「地域文化資源活用にデジタルアーカイブをどう活かすか」(80分)

パネリスト | 長坂俊成 [立教大学教授] / 水島久光 [東海大学教授] /

宮本聖二 [ヤフー(株)映像エグゼクティブ・プロデューサー] / 森まゆみ [作家]

司会 | 柳与志夫 [東京大学特任教授]

参加方法

参加費無料

参加申し込みは、次のリンク先のフォームからお願いいたします。

<https://goo.gl/iA6sdF>

* 125名の定員が埋まりしだい受付を締め切らせていただきます。

懇親会

終了後、19:00から懇親会を開催します。申し込みフォームに懇親会の参加希望もご入力ください。

会場 | 東京大学山上会館

会費 | 5,000円